

金融市場NOW

# 法人企業統計 設備投資が堅調

## 9四半期連続で増加 製造業を中心に投資が活発

- ▶ 2018年10～12月期の法人企業統計によると、設備投資が9四半期連続での増加となった。
- ▶ 情報通信機械を中心に化学、石油・石炭など、製造業の設備投資の増加が全体をけん引。
- ▶ 今回の法人企業統計の結果を受け、3月8日に公表されるGDP改定値の上方修正期待も。

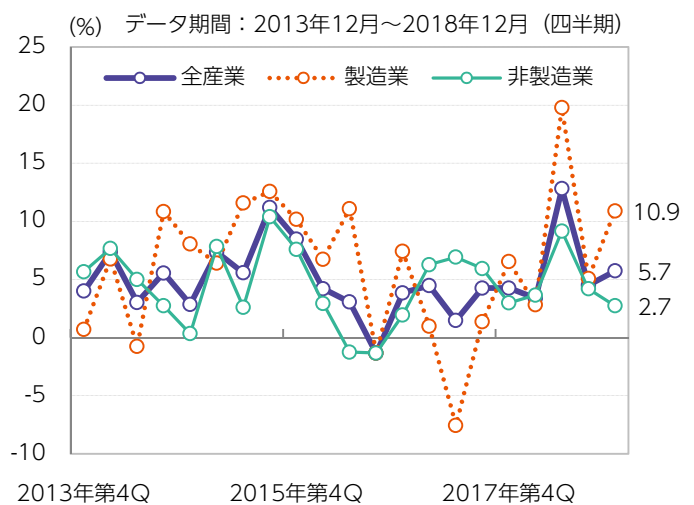
3月1日に財務省が発表した2018年10～12月期の法人企業統計によると、全産業（資本金1千万円以上、金融業、保険業を除く）の設備投資が前年同期比（以下同様）で5.7%増の12兆530億円となり、9四半期連続での増加となりました（図表1）。半導体や自動車向け部品など、製造業を中心に生産能力増強のための投資が活発となったことが要因とみられます。

設備投資の動向を産業別に見てみると、製造業は同10.9%増、非製造業は同2.7%増となっており、製造業が大きくけん引しました。製造業のうち、情報通信機械は同60.3%と大幅増加、そのほか化学、石油・石炭などが20%超えとなり、多くの業種で増加となりました。非製造業のうち、不動産業はオフィスビルや商業施設の建設増加にともない同57.5%の増加、リース用車両向けなどの投資が増加した物品賃貸業も同27.8%の増加となりました。

全産業ベースでの経常利益は同7.0%減の19兆4,763億円となり（図表2）、10四半期ぶりの減益となりました。2018年末にかけて原油価格が下落したことから製造業のうち石油・石炭で在庫の評価益が減少したことが大きく響きました。非製造業では、人件費の高騰などにより、サービス業を中心とした減益が重荷となりました。しかし10～12月期としては過去3番目の大きさであり、財務省は『景気は緩やかな回復基調にある』と分析しています。

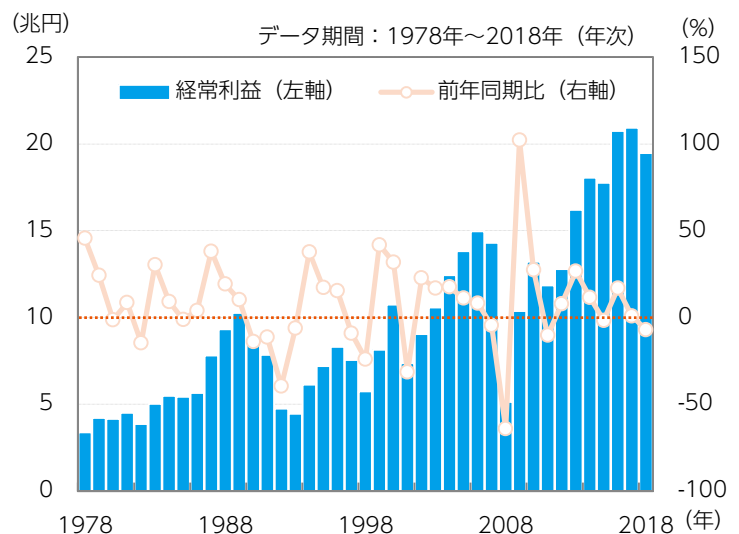
今回の法人企業統計の結果は、3月8日に内閣府より公表される2018年10～12月期の国内総生産（GDP）改定値に反映されます。これらの結果を受け、一部では企業の設備投資と経済成長率の上方修正を期待する声もあるようです。

図表1：設備投資は9四半期連続の増加となる



※全規模ベースの設備投資（前年同期比増減率）の推移（全産業及び非製造業には金融業、保険業は含まれていない）

図表2：経常利益は減益となるも過去3番目の大きさ



※経常利益の推移（各年10～12月期）（全規模・全産業（金融業、保険業は含まれていない））

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>